

## アグネス・チャンさんが、“ユニセフ・アジア親善大使”に任命されました

アグネスさんは、1998年より「日本ユニセフ協会大使」として活動してきましたが、2016年3月7日に「ユニセフ・アジア親善大使」(UNICEF Regional Ambassador for East Asia and the Pacific Region)に就任。初のミッションは3月20～21日、大型サイクロンで被災したフィジーを視察。帰国早々に東京のユニセフハウスにおいて報告会を開催しました。壊滅的な被害が出た学校やコミュニティを訪れ、子どもたちや住民の話を聞いたアグネス大使は、安全な水、栄養、予防接種、心のケアなど、被災地ではいまだ多くの支援が必要とされていることを訴えました。



©日本ユニセフ協会/2016/S.Taura 【ユニセフ

の支援で設置されたテントの仮設教室の前で、学用品がセットされたスクールバッグを受け取り、喜んでいる子どもたち】

## ふじ幼稚園 第38回卒園式

3月15日、山元町のふじ幼稚園で卒園式が行われ、出席しました。発災後、全世界のあたたかな支援を受け、ユニセフが園舎を再建しました。その園舎はとても大切に使われています。かけこでできる長い廊下も子どもたちにとって魅力のひとつです。保護者や先生方、地域の方々に見守られて、この日51人が卒園しました。3年皆勤、2年皆勤が各1人ずついて、驚きました。3つの幸せ～してもらおう幸せ・できるようになる幸せ・してあげる幸



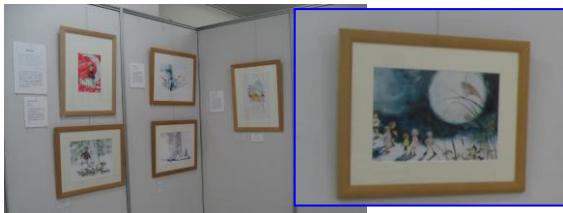
せ～を心にきざんで小学校へ入学してください、と園長先生からお祝いと励ましの言葉がありました。みんなりっぴに成長しました。



ひまわりパワー

## 「いわさきちひろ複製画展」を開催しました

昨年に引き続き、2月から3月にかけて、みやぎ生協と共催で生協の4会場で開催しました。天候に恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきました。岩切店、生協文化会館アイトピア(石巻市)、明石台店、柳生店で2日間ずつの開催でした。志伯暎子さんによる「絵本の朗読」(3会場)、ちひろ美術館の学芸員さんによるギャラリートーク(柳生店)に大勢の方が耳を傾けました。ポストカードや一筆箋などのちひろグッズの販売もたいへんな人気でした。



震災から5年目にあたる3月11日、今年は「あの日」と同じ金曜日でした。名取市閑上の「追悼のつどい」に参加し、メッセージを書いた「はと風船」を飛ばしました。昨年までは閑上中学校から飛ばし、いつも海のほうへ風船が飛びましたが、今年は日和山近くで飛ばしたからか、元の閑上中学校のほうへ・内陸に向かって飛んでいきました。

岩手県ユニセフ協会15周年記念式典&「アグネス・チャン大使講演会」(3月27日、盛岡)と、国際ソロブチミスト仙台認証45周年記念「アグネス・チャンチャリティ講演会」(3月30日、仙台)に参加しました。岩手では、「3.11私たちは忘れない」をテーマに「世界の子どもたちと東日本大震災」についての講演でした。国際ソロブチミストは、世界中で女性と女児の生活を向上させる奉仕活動をしている団体です。仙台での講演は「みんな地球に生きる人～日本の国際化と子どもの未来」についてでした。私たち大人は、子どもの4つの権利「生存」「発達」「保護」「参加」が実現できるように日々努力していかなければならないと強く思った講演でした。

